

2020年1月23日

報道関係各位

株式会社 奥村組

森川葵さんが「ケンジョ」を演じるシリーズCM  
「建設 LOVE 奥村くみ」第3弾  
チャーミングな「安全戦士」にも挑戦！新キャラクターも登場  
奥村組 新TVCM 2020年1月26日（日）オンエア開始

株式会社奥村組（本社：大阪市阿倍野区、社長：奥村太加典）は、企業CMとしてコンセプトCM「建設が、好きだ。」篇（全2話（各15秒））、シリーズCMとして第3弾となる「建設LOVE 奥村くみ」篇（全2話（各15秒・30秒））を制作し、当社が協賛する「第39回 大阪国際女子マラソン」（2020年1月26日（日）開催）の番組内でオンエアを開始します。



CMは、1907年の創業以来、「堅実経営」と「誠実施工」を信条に、建設の仕事に真摯に向き合ってきた当社の情熱を「建設が、好きだ。」という企業メッセージで表現しています。

建設大好きな奥村組の新米女子社員の成長を描いたシリーズCM「建設LOVE 奥村くみ」篇では、映画やドラマで様々な役を演じる実力派女優・森川葵さんが「新米ケンジョ」を好演、第3弾では、奥村くみが、チャーミングな「安全戦士」に挑戦する他、俳優の山中崇さん演じる先輩社員に続き、女優の木村舞輝さんが後輩社員として登場します。

また、森川さんは、コンセプトCMにも出演し、総勢約80名の当社社員とともに熱演しています。楽曲には、シンガーソングライター・竹原ピストルさんの作詞・作曲による書き下ろしオリジナル曲『いくぜ！いくか！いこうよ！』を引き続き採用しています。

「建設が、好きだ。」の熱い思いで地元大阪の発展や女性の活躍を推進する奥村組は、2018年から2021年までの4年間の大阪国際女子マラソンへの協賛活動を通して、大阪の街を盛り上げ、大阪から世界に羽ばたく女性アスリートを応援していきます。

<CMに関するお問い合わせ先>

奥村組 PR事務局（電通パブリックリレーションズ内）

紙・WEB担当：横川 TEL：070-1320-3758 / MAIL：[manami.yokokawa@dentsu-pr.co.jp](mailto:manami.yokokawa@dentsu-pr.co.jp)

テレビ担当：松崎 TEL：080-9716-9467 / MAIL：[chieko-matsusaki@dentsu-pr.co.jp](mailto:chieko-matsusaki@dentsu-pr.co.jp)

## 【CM コンセプト】

---

### 建設が、好きだ。

当社は、1907年（明治40年）の創業以来、「堅実経営」と「誠実施工」を信条に、土木・建築を両輪として社会の発展に寄与すべく、歩んでまいりました。自分たちがつくったものに対する責任を、その寿命がまっとうするまで担い続けたい。そのためにこそ、何よりも社員や現場の「人」を大切にする。「堅実経営」と「誠実施工」には、そうした思いが込められています。

「建設が、好きだ。」このシンプルな言葉を企業メッセージとし、長年にわたって建設の仕事に真摯に向き合ってきた私たちの誇りと情熱を表現しています。

## 【撮影メイキングエピソード】

---

今回の撮影には、総勢80名あまりの社員が参加しています。着工間もない建築工事現場でのシーンには、およそ50名の社員が集まり、社屋ロビーでのシーンには社長も社員とともに撮影に挑みました。3年続けての共演となる奥村くみを演じる森川葵さんと先輩役山中崇さんとの掛け合いは息ぴったりで、「建設はマラソンだ。」篇のラストシーンにはお二人のアドリブのやりとりが使われています。安全戦士のポージングも、森川さんがいろいろトライしてくださったおかげで、とてもチャームなシーンとなりました。

## 【森川葵さんメッセージ】

---

奥村くみとしてCMに出させていただいてはや3年。今回のCMでは、後輩ができていたり、先輩とこれまで以上に互いを尊敬し信頼し合う関係性になっていたり、くみちゃんのさらなる成長を感じました。

そして今回はたくさんの奥村組社員の皆さんと一緒に出演するシーンがありました。これまで社員の皆さんと接する機会はそれほど多くなかったため、とても寒い中ではありましたが、皆さんと協力して一体感のある撮影ができてすごくうれしかったです。

私も仲間として奥村組のチームに入れていただけたような気がして胸が熱くなりました。

また、毎回恒例のドラマ仕立てのCMはいつもの妄想癖がさらにたくましくなっていますので、お楽しみに！

## 【TVCM ストーリー】

---

### ■「建設 LOVE 奥村くみ」シリーズ CM (8・9 話) 各 15 秒・30 秒

#### 1) 建設 LOVE 奥村くみ「建設はマラソンだ。」篇 (第 8 話)

入社 3 年目、新たなプロジェクトが始まる。  
建設は、まるでマラソンのようだと言ったくみ。  
壮大なスケールで過去の経験を回想するのであった。



#### 2) 建設 LOVE 奥村くみ「安全戦士くみ」篇 (第 9 話)

安全を第一に考える奥村組。くみも当然、その一人。  
ただ、いつものように妄想が広がって…。  
新キャラクター「後輩の木村さん」も登場。



### ■企業コンセプト CM 建設が、好きだ。篇 (全 2 話) 各 15 秒

昨年のコンセプト CM に続き、今回も社員が実際に働く姿をドキュメンタリータッチで描いています。

#### 1) 「でっかい夢をつくろう。」篇

広大な建設予定地にたたずみ、  
建設の醍醐味について思いをはせる奥村くみ。



#### 2) 「私たちはチームだ。」篇

建設という大きな仕事を成し遂げるには、チーム力が欠かせない。  
たくさんの仲間を背に、熱く語る奥村くみ。



## 【出演者・楽曲提供アーティスト プロフィール】

---

### ■ 森川 葵（女優）



○生年月日 1995年6月17日

○出身地 愛知県

2010年集英社『seventeen』の専属モデルとして 芸能界デビュー。

現在、映画やテレビドラマなどを中心に女優として活躍。

映画「嘘八百 京町ロワイヤル」(1/31 公開予定)に出演。中京テレビ・日本テレビ系「それって！？実際どうなの課」にもレギュラー出演中。

○最近の主な出演作品

〈映画〉

- ・耳を腐らせるほどの愛(2019.6 公開)
- ・賭ケグルイ (2019.5 公開)
- ・OVER DRIVE(2018.6 公開)
- ・リバーズ・エッジ (2018.2 公開)

### ■ 竹原ピストル（シンガーソングライター）



1976年、千葉県生まれ。

1999年、野狐禅(ヤコゼン)を結成し音楽活動を本格化。際立った音楽性が高く評価され、2003年にメジャーデビュー。その後、野狐禅を解散し、一人きりでの表現活動を開始。毎年約250本のペースでライブも並行するなど精力的に活動を行う。2017年4月にリリースしたアルバム「PEACE OUT」は自身キャリアハイとなるオリコンウィークリー5位にチャートイン。

大晦日には紅白歌合戦にも出演。2018年4月にニューアルバム「GOOD LUCK TRACK」をリリースし、6月から全国弾き語りツアーも開催。2019年9月4日には5枚目となるアルバム「It's My Life」をリリース。アルバムを携えたライブを敢行中。12月18日には初のライブ映像商品「LIVE AT 武道館 2018.12.22」をリリースした。音楽活動に加え、役者としての評価も高く、2016年秋に公開された西川美和監督作品『永い言い訳』での好演で、キネマ旬報 助演男優賞、日本アカデミー賞 優秀助演男優賞を受賞した。

## 【TVCM オンエア概要】

---

○放映開始日 2020年1月26日（日）第39回大阪国際女子マラソン番組内

○放映エリア 全国

○CMとメイキング映像は、奥村組ホームページでご覧いただけます。

<コーポレートサイトサイト MOVIE GALLERY>

<http://www.okumuragumi.co.jp/movie/index.html>

## 【CM 制作スタッフ】

---

クリエイティブディレクター 金昭裕（電通関西支社）

CMプランナー 谷村隆裕（電通関西支社）

アートディレクター 川村志穂（電通関西支社）

プロデューサー 五十嵐一敏（電通クリエイティブX）

プロデューサー 池田貴昭（電通クリエイティブX）

ディレクター 和泉大介（THE DIRECTORS GUILD）

カメラマン 井本直希（黒田秀樹事務所）

照明 みやき しんいち

美術 末広豪

スタイリスト 武久真理江

ヘアメイク 牧田健史

プロダクトマネージャー 張矢寛志（電通クリエイティブX）

タレント 森川葵（スターダストプロモーション）・山中崇（ザズウ）・木村舞輝（ライト・マネジメント）

歌手・演奏 竹原ピストル

## 奥村組 会社概要

---

- 社名／株式会社奥村組 ●本社／大阪市阿倍野区松崎町二丁目2番2号
- 創業／1907年（明治40年）2月22日 ●資本金／198億円
- 社長／代表取締役社長 奥村太加典 ●従業員数／2,003人 ※2019年3月31日現在
- 事業内容／総合建設業およびこれに関連する業務
- 売上・利益／売上高220,884百万円、純利益12,314百万円 ※2019年3月期決算（連結）
- シンボルマークの由来



奥村組のシンボルマークは「人」を象徴したものです。これは「人と自然を大切に、未来づくりに貢献するヒューマン・コンストラクター」をめざすという私たちのところを表現しています。